

## 公表 事業所における自己評価結果

事業所名	En.療育ラボ新井薬師スタジオ	公表日	2026/3/27
------	-----------------	-----	-----------

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	90.0%	10.0%	・小集団を行い、スペースを工夫して運動しております。 ・近隣の公園も活用し、適切に取れしております。	・広いとは言えない空間であるので、活動によってスペースを工夫して使っております。
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	100.0%		・法令順守で配置しております。	・人数は足りているのが、今後は余裕を持って活動出来るようにしていきたいと考えております。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	100.0%		・必要に応じてスタッフが補助に入っております。	・会員様が増えておりますので、余裕を持った人員配置を行い、環境上の配慮も出来ればと考えております。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	100.0%		・危ない場所にはコーナークッションを貼る等工夫しております。	・マットの溝をガムテープでふさぎ、転倒防止に努めております。
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	100.0%		・必要に応じて保護者待合室を利用しております。	・必要に応じて保護者待合室を利用できるようになっているので、今後も子どもが居ても安全な環境に努めていきます。
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	100.0%		・業務改善に向けて、終礼で話し合いを行っている。	
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100.0%		・保護者面談をしたり、その都度話し合う機会を設けている。	・面談内容を、引き続きスタッフへ共有していきます。
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100.0%		・毎日終礼を行っており、話し合う場を設けております。	・風通しの良い職場を目指しており、引き続き保護者の方と密に連絡を取り合って行きます。
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	60.0%	40.0%		・管理者による評価面談を密に行います。
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100.0%		・外部における研修の機会も充実しており、学ぶことの出来る環境が整っております。 ・毎月オンライン上で研修を行っております。	
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	100.0%		・公表させていただいております。	
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	100.0%		・保護者面談を行い、ニーズを把握しております。	・サービス計画に記載するだけでなく、終礼で共有するようにしております。
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100.0%		・担当スタッフと確認し、作成しております。	・他のスタッフからも意見を聞くようにしております。
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100.0%		・担当スタッフが随時確認出来るようになっております。	・見落としがないように余裕を持った割り振りを行っていきます。
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	100.0%			

適切な支援の提供	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100.0%			・支援計画に記載しております。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	100.0%			・スタジオ全体で考えております。	・話し合いに参加出来なかったスタッフの意見も反映できるようにしております。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100.0%			・担当制にせず、いろんなスタッフが担当し、プログラムが固定化しないようにしている。	・長く利用している利用者も固定化しないように、工夫していきます。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	100.0%			・子どもの状況に応じて、割り振り等も変更し、支援しております。 ・毎週日曜日に公園で集団療育を行っております。	・引き続き研修等も行い、さらに充実した支援が行えるようにしていきます。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100.0%			・その日の割り振りを確認し、話し合いながら支援しております。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	100.0%			・終礼時に話し合い、サービス提供記録に記載しております。	・引き続き連携して支援していきます。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100.0%			・毎回記録を取り、終礼で話し合うことによって、支援の検証、改善に努めております。	・引き続き連携して支援していきます。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100.0%			・少なくとも半年に1回以上、保護者様との面接の機会を設けている。	・引き続き記録を取り、共有することで、サービスの向上を目指していきます。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	100.0%			・ガイドラインを組み合わせ合わせて行っております。	
関係機関や保護者との連携	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	100.0%			・療育の最後に、お子様のやりたいことを行う時間を設けております。	・課題が多いときにも、お子様のやりたいことを行う時間を確保しております。
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100.0%			・担当スタッフ、管理者が参加しております。	・話し合いの内容を他のスタッフにも共有しております。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	90.0%	10.0%		・個人のニーズに合わせて行っております。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	100.0%			・学校を訪問したり関係機関と連携を取っております。	・訪問をしたことがないお子様はフィードバックで保護者様からご様子をお伺いしております。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	70.0%	30.0%		・保育園、幼稚園訪問を行い、関係機関と連携を取っております。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	100.0%			・未だそのようなご利用者の方はおりませんでした。	・ご利用があった場合には対応してまいります。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	50.0%	50.0%		・ご連絡を頂いたときに、対象保護者と面談の機会を設けております。	・定期的に機会を設けられるようにしてまいります。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		100.0%			・今後取り入れてまいりたいと思います。

携 関 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	33	(自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか。	100.0%		・今年度は参加しておりません。	・今後参加予定です。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100.0%		・公式LINEを活用し、相談しやすいようにしております。	・引き続き相談しやすい環境を作っています。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	100.0%		・現在実施しておりません。	・個々のニーズに合わせて対応出来るようにしていきたいと考えております。
保 護 者 へ の 説 明 等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100.0%		・ご契約時に説明しております。	・引き続きわかりやすくお伝えします。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100.0%		・面談やフィードバックで子どもや家族の意向を確認している。	・引き続き子どもや保護者様の意向を大切にまいります。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	100.0%		・行っております。	・引き続き行っていきます。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100.0%		・その都度お声がけしたり、公式LINEから相談いただいたときには面談のお声がけをさせていただいております。	・引き続き相談しやすいような環境設定を行っていきます。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	100.0%		・現在行っておりません。	・今後検討します。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100.0%		・迅速に話を聞いております。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	100.0%		・HPで活動内容をブログで配信しております。	・行事ごとに配信できるよう心がけていきます。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100.0%		・十分に注意しております。	・これからも注意してまいります。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100.0%		・口頭で連絡いただいたことはLINEに文字で残しております。	・引き続き工夫して情報伝達を行っていきます。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	100.0%			
非 常 時 等 の 対 応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100.0%		・想定した研修を行っております。	・具体的な訓練が出来るように対応してまいります。
	47	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100.0%		・定期的に必要な訓練を行っております。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	100.0%		・随時保護者の方から新たに服薬した薬等確認しております。	・服薬している薬があるお子様について、情報がすぐわかるようにしております。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	100.0%		・食物アレルギーのあるお子様は随時保護者の方から確認を取っております。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100.0%		・安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練を行っております。	

非常時等の対応	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	100.0%			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100.0%		・ 終礼で共有しております。	・ 再発防止に向け、具体的な研修を行っていきます。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100.0%		・ 定期的に研修を行っている。	・ 引き続き研修を行っていく。
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	100.0%			